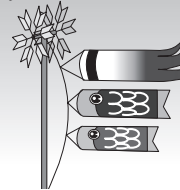


東京都個人タクシー協会

会報

乗って安心個人タクシー



平成24年
5月号

シルバータクシードライバー交通安全教室開催

プロドライバーとしての高いレベルを

4月11日(水)、世田谷区にある警視庁交通安全教育センターにて「シルバータクシードライバー交通安全教室」が開催されました。個人タクシー事業者16名が受講し、安全運転のための感情コントロール、テストコースにおける実技講習を通じて交通安全の大切さを学びました。

交通事故死者数は5000人を下回り、ピークだった昭和45年当時と比べて約3分の1に減少しました。その一方で、平成23年の全タクシードライバー事故に占める高齢ドライバーの割合は23%となり、この10年間で最も高い数字となりました。今回は、増加する高齢タクシードライバーの交通事故に歯止めをかけようと、交通安全意識の普及・浸透も図る目的で、春の全国交通安全運動「期間中に実施されました。



講習スタッフを助手席に乗せ、周囲に気を配りながらの走行訓練



走行した片側の安全を想定した片側走行訓練

【受講者の声】
頑張り過ぎないのが一番ですね
永田 朗さん(東個協・目黒第一支部)
のんびりしている性格なので急な割込みも意に介さないつもりでいましたが、感情コントロールがいかに大切かを知り、40年近くやっていても未熟だなと痛感しました。「頑張りなくちゃ」と意識込みすぎると運転にも身体にも影響します。売上目標を掲げるのは事業者として当然ですが、無理せず続けることが何よりだと思います。私には協会の接客・クレーム対応研修と並んで有意義でした。



【認知・判断・操作】は基本中の基本
池田 衛さん(都宮協・事業団支部)



開催にあたって吉田管理官から「お客様の命を預かるプロドライバーとして、高いレベルを保って日々ハンドルを握っていたほしい」と挨拶の後、安全運転のための感情コントロール講習がありました。この講習ではマナーの悪い歩行者・ドライバーに対するむかつき度、時間に関われる時のあせり度について事例を見ながらの自己チェックをしました。教官から「相手の立場で考える」と交通事故発生の要因である「ヒヤリ・ハット」を避けることができます。事故を未然に防ぐには考え方をちよつと変えることです。イライラしてしまう感情の理由を考え、その感情を落ち着かせる「セルフトーク」(自らに言い聞かすセリフ)に生かしていただきたいと思います。

実習では運転席から見た視野と死角を確認の後、法規走行・応用走行、制動訓練・回避訓練、事故検証といった項目を乗車して行いました。また、設けられた障害物を回避するハンドル・ブレーキ操作、路肩を想定した片側両輪走行などを2回繰り返し、コースを変えてアドバイザー役の教育センタースタッフを助手席に乗せて安全確認走行を行いました。

安全運転に欠かせない感情コントロールを学んだあと、テストコースで行われた実技講習はとても勉強になりました。信号、大型車両に隠れている二輪車・自転車や歩行者の確認に始まり、左右をよく見てからの操作が求められる場面を体験。実際の運行中も気が抜けませんが、冷静を保ち、運転の基本である「正しい認知・正しい判断・正しい操作」がつねに求められるのだと身を持って知りました。

都内個人タクシー現況 (平成24年4月1日現在)			
許可事業者数	16,144名	(前月比-67名)	
(特別区、武三)	15,673名	北多摩182名	南多摩289名)
傘下事業者数	15,880名	(前月比-100名)	
(特別区、武三)	15,411名	北多摩182名	南多摩287名)

羽田空港国際線タクシー乗り場が「定額運賃専用乗り場」に

羽田空港国際線タクシー乗り場は、今後予定される発着枠の拡大に伴い、定額運賃をアピールすることで需要の拡大及び旅客利便の向上を図るため、今般、当該乗り場からの定額運賃設定ゾーン内への運送の申込みについては、旅客からの特約の解除の申し出があった場合を除き、自動的に特約が成立する「定額運賃専用乗り場」として左記により運用することになりました。

1. 運用開始日時

平成24年4月23日(月) 12時

2. 入構車両の条件及び運用

①定額運賃導入事業者の車両

②「WELCOME ABOARD」ステッカーを貼付した車両

※指差し外国語シートの携行、同シートの活用方法等(挨拶、ドア・トランクサービス)の励行等の接遇含む)に関する講習の受講者

③定額運賃による特約を受諾する意志がある事業者の車両

④ETC装着車両

⑤世田谷区の一部地域については、首都高速の利用で適用される定額運賃より、一般道の利用で適用されるメーター運賃が安くなる場合があるため、運転者は旅客に対し、首都高速を利用しての定額運賃か、一般道を利用してのメーター運賃かの確認を行う運用とする

⑥その他現行の運営ルールを適用

接客マナープレコンテスト本選会

接客は「目配り・気配り・心配り」

3月27日(火)、(社)全国個人タクシー協会関東支部において、予選会・準本選会を勝ち抜いた都県協会の代表19名が、日頃の接客サービスをアピールしました。審査により最優秀賞・優秀賞・特別賞の上位6名が決まり、7月9日の関東支部代議員会で賞状が手渡されます。

おもてなしの気持ちが伝わってきました

審査員の(株)三越伊勢丹ヒューマンソリューションズの渡邊弘子さんから

「本選会に出場された19名の皆さん全員がトップレベルの接客を見せてくださいました。予選会の時と比べて、素晴らしい点がいくつもみられました。お客様との会話に大きな進歩があり、シートベルト着用のお願ひ、喫煙の断りといったマナー協力への感謝の応対は見事。車内でのやりとりでは随所に「ありがとう」ございます」という言葉が聞

入賞者一覧

最優秀賞	白田浩二さん	東個協
優秀賞	安田昇司さん	東個協
	荒木公一さん	南多摩支部
	長谷川勝美さん	千葉県西部協組
	関 祐越さん	横須賀同志会
	長谷川 洋さん	都営協
特別賞		東京旅客協会
		野方支部



入賞した6名の皆さん。左から長谷川勝美さん、関祐越さん、長谷川洋さん、安田昇司さん、荒木公一さん、白田浩二さん、青山佳世審査委員と木村忠義審査委員長

かれ、お客様第一のやさしい対応ができていました。荷物の積み下ろしと中身に壊れ物がないかの確認、所用時間のご案内といった「先回りのサービス」は心地よいものです。また、運賃・お釣りレシートの受け渡しでお客様に近づき「失礼します」と一言加えていらつしゃいました。皆さん甲乙つけがたく、選にもれた方もご自身の良さを十二分に発揮されていました。どうぞこの経験も自信にしてください。

最優秀賞・特別賞の喜びの声

皆さんから教えられました

最優秀賞 東個協・大田第一支部



人前では緊張してしまいう質なのですが、今回は笑顔に気を付けました。都県協会代表の皆さんのお客様を迎える際の味のある会話、そのない気配りなどは大いに参考になりました。支えてくれた妻に報告します。応援してくれた支部長はじめ多くの仲間にも喜んでもらえます。

大切な人をもてなす気持ちで

特別賞 都営協・東京旅客協会



2月の準本選会の時よりもあがっていましたが、普段通りの接客をすることができました。大切な人をもてなす気持ちでお客様を迎えることが自然にできるようになり、ご高齢の方、お体が不自由な方にお乗りいただくときは特に気を配り、安全第一で運転しています。

春の全国交通安全運動実施期間中における交通事故防止活動 シートベルト着用状況の調査・指導を実施

春の全国交通安全運動期間中の4月10日(火)、東京駅と新宿駅において、シートベルト着用状況の調査指導並びに乗務員・事業者に対する交通事故防止を呼び掛ける活動が行われました。この活動は東京運輸支局・警視庁・東旅協・ハイタク交通共済・都個協合同で行われたもので、協会からは安全対策委員会担当の横山副会長をはじめ5名が参加しました。正しいシートベルト着用方法を訴えるチラシやノベルティグッズ(絆創膏)を配るとともに、クリップ留めをするドライバーに対しては、シートベルトの正しい着用を指導しました。



乗務員・事業者に交通事故防止を呼び掛けました

PRを重
ねていき
たいと思
います」
と、運動
への思い
を語りま
した。

個人タクシー環境美化運動 両団体合同でボランティア活動

タクシー乗り場等での清掃活動は、従来から個人・グループ・団体単位等でそれぞれ自主的な取り組みが行われており、敬意を表するところです。今般、東京都個人タクシー協会においても両団体合同による社会貢献活動の一環として、有志事業者を募りタクシー乗り場の清掃活動を実施することになりました。初日となる4月9日(月)には、東個協中野支部、都営協新中野支部から有志6名が新宿駅西口地下優良タクシー乗り場にて、ハウキ、チリトリを手に清掃しました。今後も毎月実施いたしますので、皆様のご協力をお願いいたします。



有志が集まった皆さん



清掃活動のようす

街頭指導報告

不適正営業の多発する地区において街頭指導を実施しました。報告書の中から一部を紹介します。

〈銀座・新橋地区〉

日時：平成24年3月26日 午後10時から翌午前1時
指導班：第5指導班

新幸橋、新橋駅東口吉野家前、新橋駅東口バス停等において18台の不適正営業車両を現認し、順次ビデオ撮影を行い、指導票を作成した。とりわけ新橋駅東口タクシー乗り場前方のスペースにおける待機車両が酷く、後方のタクシー乗り場を配慮する気持ちはあれば、出来ないことであると感じた。また、築地警察署より、車両進入禁止道路の通行に対する改善要請が来ており、外堀通りから花椿通りへの入口において指導を行うと、1時間当たり20台程度の車両が進入を試み、その都度排除指導を行った。

■不適正営業集計表 (街頭営業適正化指導規程)

(件)

発生月	警告事案	講習事案	処分事案	合計
平成24年2月	23	4	2	29

■処分事案対処報告書 (街頭営業適正化指導規程)

平成24年3月報告分

会員	団体名	氏名	発生日	対象行為	発生場所	加重	処分内容
東個協	武三支部	T・H	平成23年12月2日	乗禁地区営業	土橋高速入口周辺		表示灯使用停止 精算停止、講習2日
東個協	北第二支部	T・K	平成23年12月7日	乗禁地区営業	土橋高速入口周辺		脱退勧告
		T・K	平成24年1月17日	進入禁止無視	中央区銀座8-3先	加重	
東個協	板橋第一支部	F・K	平成23年12月14日	乗禁地区営業	中央区銀座7-7		表示灯使用停止 精算停止、講習2日
東個協	板橋第一支部	K・I	平成23年12月16日	進入禁止無視	金春通りと花椿通りの交差点		表示灯使用停止 精算停止、講習2日
		K・I	平成24年1月19日	乗禁地区営業	中央区銀座7-7	加重	

※処分事案は東個協・都営協に処分を要請し、平成24年3月中に処分内容の報告があったもの

※加重とは、処分事案としての処理が2回目以降となる場合です

■行政処分状況

平成24年3月分

処分日	氏名	処分内容(車両停止)	違反事項	違反概要	点数
3月13日	大城政巳	10日車	運輸規則第19条の2	損害賠償保険未締結	1点
3月13日	須山恭平	10日車	運輸規則第19条の2	損害賠償保険未締結	1点
3月21日	葛川健司	25日車	道運法第15条第1項他	無認可車庫他	3点
3月21日	森内信雄	20日車	道運法第15条第1項	無認可車庫	2点
3月21日	八木晴男	文書警告	運輸規則第25条第3項他	運転日報他	0点
3月21日	宮村榮一	文書警告	運輸規則第3条第2項	苦情未記録	0点
3月21日	小川一則	文書警告	車両法第47条の2	日常点検整備	0点

計報

*3月

氏名	所属団体	享年	病名
相場謙造	(東個協・板橋第一)	70歳	直腸癌
山田時博	(東個協・墨東)	68歳	肺癌
菊地喬也	(東個協・墨田)	65歳	肝臓癌
金杉正夫	(都営協・足立)	61歳	肺炎
田中啓介	(都営協・足立)	58歳	肝臓癌
仙人一彦	(都営協・城北)	65歳	肝不全
小林健夫	(都営協・個団連・西北)	68歳	肺癌
熱田信弘	(都営協・事業団)	72歳	脳出血

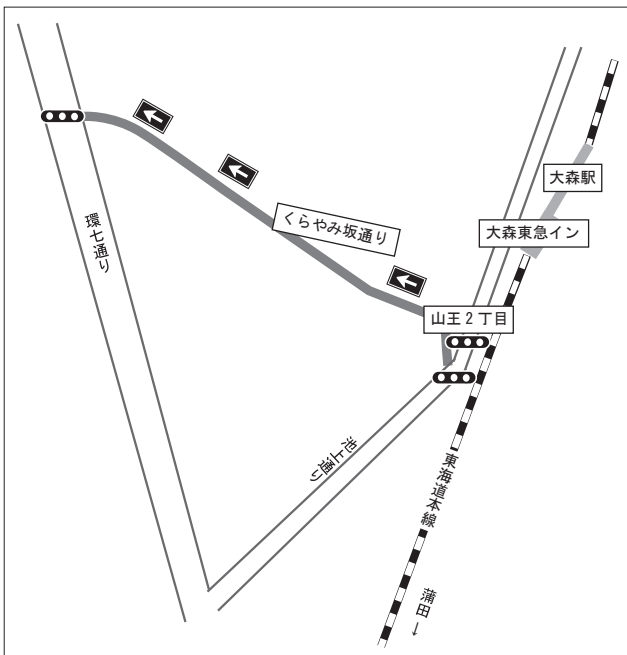
ご冥福をお祈り申し上げます

大田区「くらやみ坂通り」制限速度20km/hの徹底を

「大田区都市基盤整備部大森まちなみ維持課」及び「くらやみ坂通りゆっくり走る運動事務局」より、大田区山王地区にある「くらやみ坂通り（通称）」において、住民と車との接触事故が多発しており、当協会へ改善要請がありました。

くらやみ坂通りは細い生活道路にもかかわらず多くの車両が大森駅から環七に抜ける「抜け道」として利用されている約全長900mの区道です。この通りは池上通りから100m区間は両方向通行で道路幅が6m、閘坂上からは一方通行となり道路幅が3・8mと大変狭くなっています。また、この地域一帯の人口増加に伴い、通行する

歩行者や自転車も増えていきます。制限速度の20km/hを超過して走行するタクシー車両も見受けられ、くらやみ坂通りでは近隣住民との接触事故が多発しており、地域住民から非常に危険を感じているとの改善要請がありました。くらやみ坂通りを通行する際は必ず制限速度20km/hを守るとともに、安全運転の徹底をお願いいたします。



注意点

- 制限速度は20km/h
- 池上通りから環七へ抜ける約900mの区道
- 池上通りからの100mは両方向通行、道路幅員6m
- 閘坂上からは一方通行、道路幅員約3.8m



布田、国領などの周辺駅を含めて線路を地下化する事業が進む京王線の調布駅前



珍しい組合事務所の庭木は門松組合員が剪定しています。写真も趣味で組合の旅行では撮影担当です



前列左から島田理事長、清水専務理事
後列左から本橋副理事長、事務員の島田さん

東京ぐるり

支部紹介 ● 第43回

個人タクシー第二多摩協同組合 (所在地：調布市)

設立から間もなく10年
10人10色の顔の見える支部です

今から10年前、6人でスタートした第一多摩協同。現在の組合員は9人（北多摩5・南多摩3・武三1）。女性の事業者もいます。京王線の各駅をはじめ、調布飛行場の利用者や味の素スタジアムで行われるスポーツ・音楽イベント時のお客様を乗せています。

当番制で毎日一定の時間、組合員が事務所に詰めるほか、全員が何らかの役割を担っています。「事務員の島田さんをはじめ、第一多摩協組は十人十色、みんなが欠かせない存在です」と島田理事長は胸を張ります。

お客様との出会い、きっかけを大事にしたいと続ける島田理事長。「規制緩和後に駅付の車両が大幅に増えましたが、お客様に個人タクシーを選んでお乗りいただけるよう組合員全員で接客や身だしなみに日々、注意を払っています」。

なんでもトピックス

地域のおすすめスポットやクラブ活動、名物ドライバーなどなんでもご紹介

がんばる父さん 子たくさん

組合最年少の小野與一さんには、なんと長男の高校生から2歳になる双子の女の子まで6人のお子さんがいます。その成長を楽しみにしながら、毎日仕事に精を出しているそうです。

